

## 消しゴム

映像学科

山川直人

## Eraser

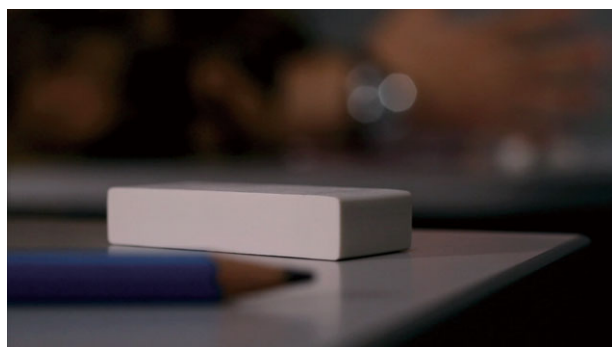
Department of Imaging Art

YAMAKAWA Naoto

# 消しゴム

2011／HDV／3分42秒

1-1



○教室(昼)

机上のアップ、アウトフォーカスの画面に、足音。  
そして椅子を動かし、席に着く音。

カバンをまさぐり、ジッパーを開ける音。  
そして巨大な鉛筆が画面にフレームイン。

続いて巨大な消しゴムもフレームイン。

新しい未使用の消しゴムにタイトル。

「消しゴム」

指先がフレームインし、その消しゴムを持ち去る。

消しゴムを包んでいたセロファンが落ちて来る。

大学生男の声(オフ・ヒソヒソ声で)「お、新しい？」

大学生女の声(オフ・ヒソヒソ声で)「そう、さっき、  
買った」

更に、消しゴムを巻いている紙も落ちて来る。

大学生男の声(オフ・ヒソヒソ声で)「裸にしちゃうん  
だ？」

大学生女の声(オフ・ヒソヒソ声で)「だってこの方  
が… ちょっと、ちょっと、見ないでよ！」

と、向こうに使い古された消しゴム。

(フォーカス送り)

手前に真っ白の新消しゴムが戻り、鉛筆が  
フレームアウトし、書く音。

古消しゴムと新消しゴムが会話する

1-2



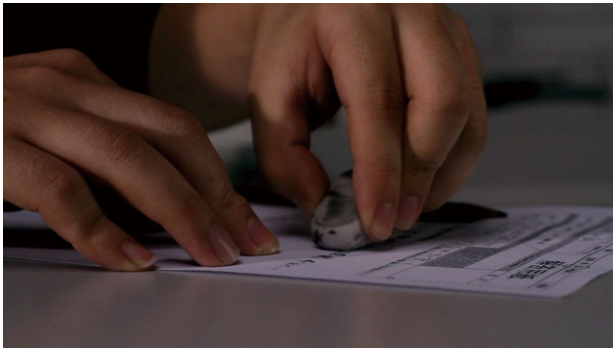
古消しゴム「あなた、新人ね」

1-3



新消しゴム「あっ、初めまして。今日からお勤めさせて  
いただきます。よろしくお願いします」

1-4



古消しゴム「よろくしね。あっ、ちょっと失礼」  
大学生男、古消しゴムを手に持ち、紙面に書いた字を  
消し、元に戻す。  
古消しゴム「ごめんねえ。話の途中に」

1-5 (1-3と同画面)

新消しゴム「いや、大丈夫です。それにしても先輩すごいですね。  
僕、初めて見ました」

1-6 (1-2と同画面)

古消しゴム「すごくないわよ。見てよ。私なんかここに勤めて  
一ヶ月だけど、

1-7



もうこんなに汚れちゃったのよ」

1-8



新消しゴム、驚き、  
新消しゴム「えっ？ 一ヶ月でですか」

1-9 (1-7と同画面)

古消しゴム「一ヶ月よ。一ヶ月でこんなになっちゃうんだから」

1-10 (1-8と同画面)

新消しゴム「扱い雑なんじゃないっすか？」

1-11

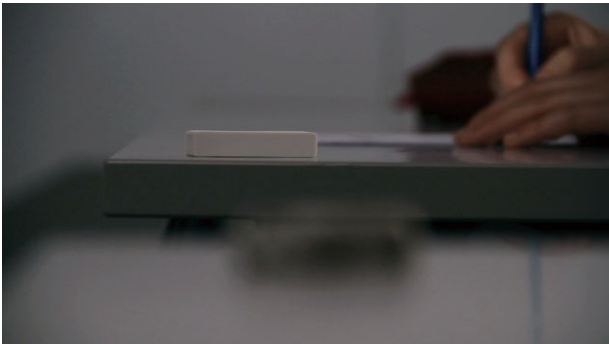


大学生男、ちょっと古消しゴムを気にする

1-12



古消しゴム「…でも、ホントに、若いっていいわね。肌がつる  
つるで白くって」  
新消しゴム、恥ずかしがりながら



新消しゴム「そうですか。ありがとうございます」

1-13 (1-7と同画面)

古消しゴム「そうよ。私ね。あなたみたいな時があったのよ。  
美肌で色が白くて、つるつるな時が」

1-14



古消しゴム、悲しげに  
古消しゴム「でもね、仕事をしていくうちに、だんだん汚れてきて、  
黒くなってざらざらで、もう嫌になっちゃったの」

1-15



○ 別の部屋・色々な場所

寂しそうな古消しゴムの所にやって来る先輩消しゴム  
古消しゴム (オフ)「そんな時、ちょっと前に定年退職した先輩が、  
しょんぼりしている私を見て『どうしたの』って  
訊いてきたの。」

1-15



で、私は『汚れていくのが嫌で』って、答えた。

1-16



そしたら、先輩は『何言っているの。』

2-1



私たちはね、汚れていく仕事なのよ。

2-2



この仕事をしてるとみんな必ず汚れるの。』

2-3



変な落書きされたり、鉛筆で刺されたり、  
カッターでスライスされたり、土足で踏まれたり、  
蹴られて水たまりに転がったり、ありとあらゆる虐待を  
受ける消しゴムたち



2-4



古消しゴム(オフ)「『自分を汚して人をきれいにするのが

2-5



私たちの仕事なの。

2-6



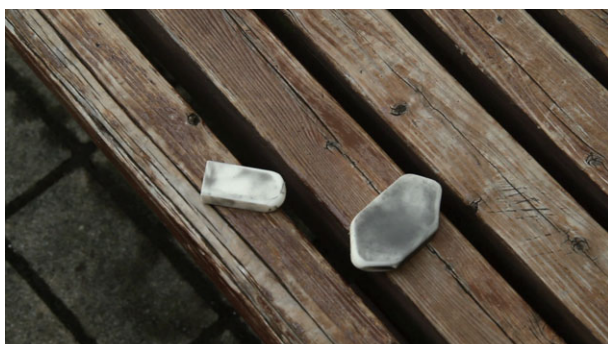
私たちはね、  
汚れてこそ輝けるのよ。』って。

2-7



そう言われて、  
私は目が覚めたの

2-8



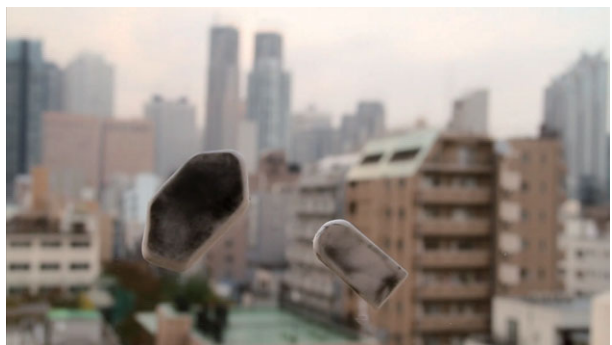
『そうか、私の仕事は

2-9



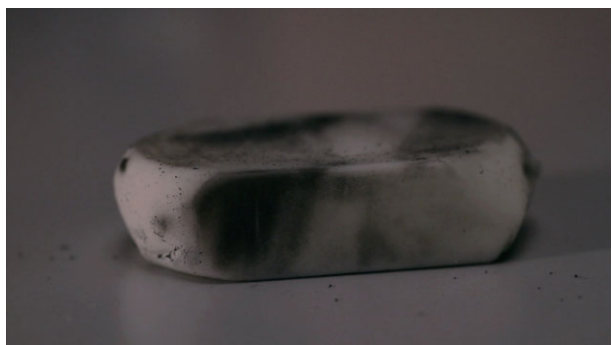
キレイになるんだ』って」

2-10



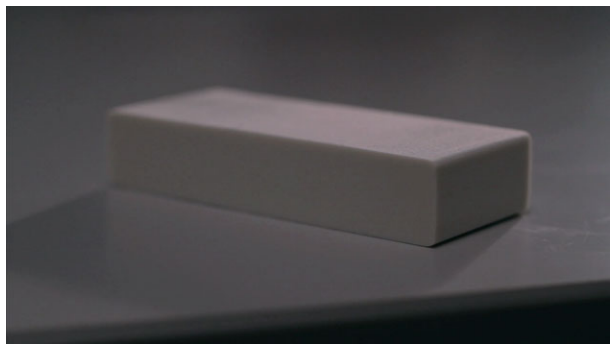
高鳴る音楽

3-1



○教室 (前々シーンに戻る)  
古消しゴム「そう思ってから、仕事が嫌にならなかったの」

3-2



新消しゴム「感動しました」

3-3



古消しゴム「いえね、あなたまだ、新人だから、仕事が嫌になって  
落ち込んで欲しくないなと思って…」



新消しゴム「とてもいい話を聞かせてくれて、ありがとうございます。まず。…先輩、キレイですよ。」  
 古消しゴム「あら、そんなあ」  
 大学生女の指がフレームイン。  
 古消しゴム「あっ、来たわよ。初仕事」  
 新消しゴム「はい、頑張って、汚れてきます」  
 古消しゴム「うん、頑張ってきてね」



トラックバックして…  
 大学生女、新消しゴムでノートに書いた字を消す。  
 大学生女(ヒソヒソ声で)「書けた?」  
 大学生男(ヒソヒソ声で)「まだ。書けた?」  
 大学生女(ヒソヒソ声で)「…まだ」  
 教室で何か紙面に書いている二人。追試?  
 教壇で先生がうつらうつらしている

4-1



クレジットタイトル

古消しゴム(中年女性の声)…仙田麻子  
 新消しゴム(若い男性の声)…斉藤真澄  
 大学生男(古消しゴム持主)…寺戸優人  
 大学生女(新消しゴム持主)…山崎梓  
 先生……………高山隆一

4-2



プロデューサー …斉藤真澄  
 脚本……………吉澤奎佑・山川直人  
 音楽……………小松哲  
 照明……………助川祐樹  
 撮影助手……………三嶋宏彰

4-3



監督…山川直人